

都道府県をしらべよう

教科書出版社名（ 日本文教出版 ）

○ 小学校（ 4 ）年 教科（ 社会 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

- ・自分の興味がある都道府県について、図書の中から必要な情報を探し出し、それらをまとめることができる。
- ・自ら調べた資料について、自分の言葉で説明し発表することができる。

○ 学校図書館活用のポイント

- ・様々な統計の見方や、調べ学習の進め方、レイアウトの方法などを詳しく知ることができるように配慮する。
- ・インターネットでの資料収集を行うため、調べ学習における情報機器の操作も、本単元で行う。

○ 学習の展開（全 12 時間）

第 1 次	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の都道府県について知る。 ・自分の調べたい都道府県を決める。 ・何について調べるのか大まかなイメージマップを作成する。
第 2 次	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをノートにまとめる。 ・ノートにまとめたことの中で発表する事柄をワークシートにまとめる。 ・まとめたことを発表用の画用紙にまとめる。
第 3 次	<ul style="list-style-type: none"> ・発表方法を考え、わかりやすく伝える方法を考える。 ・参観日で保護者の前で発表する。 ・活動の振り返りを行う。

【調べ学習のようす】



【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

① 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習経験を活かして、児童は主体的に調べることができた。自分の調べたい都道府県を選ぶことで、興味関心を高めることができた。一人ひとりが設定したテーマに沿って取り組むことで、探求的学習を身につけることができた。 ・児童によっては統計を活用し、これまで以上にわかりやすい資料を作成することができた。学習の最後に一人ひとりが発表を行うことにより、自分にはない視点で調べ学習をしている仲間の発表を聞くことができ、深めることができた。
② 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・統計等をまとめる作業が難しいと感じている児童が多いと感じた。
③ 児童の感想・ふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の知りたい都道府県について調べることができて良かった。 ・社会の調べ学習だったけど数字がたくさん出てきて難しかった。 ・最後の発表は緊張したけれど、しっかり説明することができた。

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

<ul style="list-style-type: none"> ・クラス全員の前で発表するため、大きい画用紙にまとめて発表できるようにした。導入段階では、身近な都道府県の学習として大阪府（主に特産物や、行事など）に関することを学習した。 ・今回は図書に加え ICT 機器を活用しながら調べ学習を進めた。内容にある程度の統一性を持たせるために、主に「面積や人口に関する内容」「特産物や伝統工芸に関する内容」「地域のお祭りに関する内容」「気候・季節に関する特色」等、内容を事前に精選して進めた。調べる際には、それらの内容から自分にあつたものを複数項目選択し、調べることができるように指導した。

【参考文献抜粋】

書名	出版社
ポプラディア 北海道・東北地方	ポプラ社
ポプラディア 関東地方	ポプラ社
ポプラディア 近畿地方	ポプラ社
ポプラディア 中部地方	ポプラ社
ポプラディア 中国・四国地方	ポプラ社
ポプラディア 九州地方	ポプラ社
絵で分かる社会事典 都道府県	学研
日本の世界遺産	朝日新聞出版
新都道府県クイズ 1～6	国土社
日本の国土とくらし 1～5	国土社
都道府県なるほど解説	フレーベル館